

70本の桜を植樹

成田さくら里



山頂へ続く満開の河津桜



記念植樹をする小泉市長と大槻元千葉県副知事(左)

東金山橋上流約500メートルにある「成田さくら里」で3月13日、「NPO成田さくら里」による植樹会と観桜会が開かれました。今回は河津桜、啓扇桜、八重紅桜70本が植樹され、全体で220本に。開花時期の異なる桜が植樹され、長い期間桜の花を楽しめる工夫がされています。山長の飯田伸治さん(香取市)をはじめ、会員は「成田さくら里は福島の花見山公園のような桜のスポットを目指します」と話していました。

生きがいセミナー

シルバーパワー
全開です

高齢者に日ごろの運動不足などを解消し、楽しい時間を過ごしてもらおうと、毎年2月～3月に各公民館で開催されている「生きがいセミナー」。サークル発表、台湾茶道体験のほか、健康講座や体操など生活に役立つ催し物もたくさん行われます。「見ているだけでなく、自分たちも参加できるから楽しい」と毎年楽しみにしている参加者も多く、今年も各会場は大いに盛り上がっていました。



日ごろの練習の成果を披露(2月19日・久住公民館で)

シティ・クロカン・レース

緑豊かな街並みを

市街地でクロスカントリー風のレースを楽しもうと「成田シティ・クロカン・レース」が3月7日、プレイテック・スタジアムを発着点に開催されました。コースは成田ニュータウン内の緑道を中心に、中学生5km・一般10kmで設定。小雨が降り厳しい寒さの中、市内外からエントリーした400人の選手が、緑豊かな街並みを走り抜けました。



赤坂公園の歩道橋を駆け抜ける選手たち

消費生活展

賢い消費者に

消費者自らが考えて賢く行動するきっかけにしてもらおうと2月27日・28日、「消費生活展」がボンベルタ成田店で開催されました。今年のテーマは「新しい消費者時代～私たちが主役です～」。東京電力や千葉ガス、成田ケーブルテレビなどの各ブースで、係の人の説明に熱心に耳を傾ける人が見受けられたほか、太巻きずしの実演には大勢の人だかりができていました。



伊能歌舞伎米をはじめとした特産物に長蛇の列

全国氷彫刻展成田山新勝寺大会

透き通った芸術作品が



職人技に思わずパチリ!

全国ニュー一番会と日本氷彫刻会が、参拝者の健勝を祈念し毎年奉納している「春季奉納全国氷彫刻展成田山新勝寺大会」が3月7日、本堂前を会場に行われました。当日はあいにくの雨模様。でも、氷には条件がいいんだとか…。模範彫刻の「不動明王」が会長ら有志の手により作製され、見物客の目を引きまします。職人の熟練の技術にかかると、2時間余りで36貫目(約270kg)の氷は、芸術作品に姿を変えました。

宗吾の中田善三さん

90歳の“まなびの達人”

文部科学省所管の(財)社会通信教育協会が認定する「まなびの達人・あそびの達人」に中田善三さん(宗吾)が選ばれました。中田さんの趣味は古文書研究。公津公民館で活動する「成田市古文書の会」に所属し、20年以上地域の歴史や文化について学んできました。今年90歳を迎える中田さんは“達人”の中でも最高齢。「無理なく続けていきたいです」と生涯学習に意欲を燃やしています。



認定証を手にする中田さん